

(2) 山梨創生委員会
(総括)

委員長 田辺公久

山梨創生委員会は今年度委員会を創設、「次世代育英部会」、「産学連携部会」と「山梨ネットワーク部会」の3つの部会による事業展開を図って参りました。

「次世代育英部会」は、これまで「どうする！山梨」特別委員会において4年の間、地方創生事業の一環として社会人講師派遣事業に取り組んで来ましたが、今回から継続事業として当委員会内に統合・組織替えしました。これまでと同様に、これからの山梨・日本を背負っていく若い世代（小中高生）に対するメッセージを同友会会員が提供していく場（出張授業）を設け、若者に健全な職業観や愛郷の心、未来への想いを育てるきっかけづくりなどを提供していきます。

「産学連携部会」は、28年10月山梨県立大学（清水一彦学長）との連携協定を契機に新設いたしました。初の取組でしたが、知の拠点である大学学生向けの実効性の高いリレー講座として学内インターンシップ授業に組み込まれる形で、29年7月より順調にスタート致しました。部会ではさらに、県立大学および山梨県の主催する「山梨学講座」教育連携事業へも講師派遣を決定しました。会員の皆さまの協力に感謝します。

「山梨ネットワーク部会」は、前身の「ネット推進部会」の活動を受けて「インターネットを活用して山梨ブランドを発信することにより山梨創生を図る」活動を行います。ウェブサイトやCMSを見直し、閲覧スタイルの変更や会員からの投稿など、人とのつながりを活用してリアルタイムに山梨ブランド情報を発信できるよう、ホームページのリニューアルを行って、情報の発信力を高めるよう検討していきます。

以下に、各部会長による報告をいたします。

① 次世代育英部会

部会長 饗場紀仁

◇活動の目的

本部会は、2012年5月を第1回として社会人講師派遣授業を実施しました。28年度から「地方創生委員会」において継続事業として社会人講師派遣を行っていきます。

目的は、地方創生事業の一環として、これからの山梨・日本を背負っていく若い世代に対するメッセージを同友会会員が提供していく場（出張授業）を設け、若者に健全な職業観を育んでもらうことにあります。

◇実施報告

(A) 甲斐清和高等学校（各学年）への講師派遣

実施日 第10回 2017.1.12（木）1年生（214名）

講師 清水一彦氏（山梨県立大学 学長）

演題 「何故私たちは学ぶのか、学びとは何か？」

実施日 第11回 2017.1.19（木）3年生（171名）

講師 長澤重俊氏（株）はくばく 代表取締役）

演題 「働き甲斐って何だろう？」

実施日 第12回 2017.2.09（木）2年生（189名）

講師 上原伊三男氏（株）印傳屋上原勇七専務取締役）

演題 「伝統を今に伝える力」



（甲斐清和高校での授業の様子）

(B) 山梨学院大学（現代ビジネス学部）への講師派遣

講師 入倉 要氏

基礎演習 「これからの山梨」

実施日 第1回 2016.10.25（火）（一日目）
2016.10.26（水）（二日目）
第2回 2016.11.07（月）
第3回 2017.01.11（水）（プレゼン発表会）
2017.01.17（火）
2017.01.24（火）

◇今後の事業内容計画

開催日 年2～3回程度を基本

対象者 小中学・高校生、教師、保護者

概要 企業経営者が講師となり、企業や社会の現状を生徒、教師、保護者に直接伝えることにより、社会の実情を知り、子供たちの将来に対する希望や目的を持ってもらうきっかけづくりの一助とする。

内容 授業時間は40～60分程度とする

<授業内容のキーワード（例）>

- 社会人としての自覚と責任
 - 社会で必要とされる人材
 - 人生の選択肢をひろげる
 - 人生の目標
 - 働く…やりがいのある仕事とは
 - 負けないところ、夢、希望
 - チャレンジ精神をはぐくむ
 - 競い合う心、人を思いやるところ、和を尊ぶ心
- など。

◇次回は山梨英和高等学校への派遣や、公立高校への派遣を進めていきます。

以上

② 産学連携部会

部会長 井上久仁
副部会長 藤田義治

1. 活動経過

(1) 山梨県立大学、経済同友会による産学連携講座「山梨創生学」の実施

① 活動内容説明

山梨県は今、グローバルな競争の激化・拡大に伴う進出企業の撤退や既存産業・事業所の衰退・廃業、就労機会の減少や労働力人口の流出、少子高齢化の進行等、様々な要因による人口の減少、需要の落込みなどを背景に、経済の活力低下が危惧される局面にあります。

今年度スタートした産学連携部会では、こうした問題を解決し、地域の競争力を高めていくために、地域への深い理解に基づき、地域の課題を発見し、自ら解決できる能力を有する、優秀かつ実践的な若手人材の育成について取組みを進めました。多くの知見が集積する、いわゆる知の拠点である大学と協働して、一人でも多くの学生が、経済活動、社会活動等において、将来その若い力を発揮し、山梨県、ひいては日本の牽引役として活躍できるよう成長を支援していくという視点で活動を展開しました。

山梨県立大学、同友会とはじめての試みであり、大学のカリキュラムにおける本講座の位置づけ、講義の進め方など、試行錯誤しながらの取組みでしたが、初年度として一定の成果を挙げることができたものと考えています。8名の会員の皆様に講師(連携協力者)としてご協力をいただき、マクロの経済環境や山梨県経済の特性、歴史的な発展過程などをテーマとした基礎講座(3回)、経営者が考える社会・企業・人材などをテーマとした実践講座(4回)を開催しました。また、最終回(8回目)には、山梨県の将来展望に関する講義の後、学生の皆さんとのディスカッション、質疑応答を実施し、本講座を締めくくりました。

来年度につきましても、大学と協議を進めながら、更に実効性の高い講座とすべく取り組んでまいります。また、県立大学の特性上、女子学生の参加割合が高いことから、来年度は、女性経営者の方にも講師をお願いできればと考えています。

② 講座の方針・主旨……「山梨創生学の推進(単位取得授業)」

- a. 幅広く社会情勢を学び、自ら課題を発見し、自ら解決する力を身につけ、日本創生、山梨創生に貢献できる若い人材を育成する
- b. 学問と実践の一致を図ることにより、新たな人生に対する若者の夢とロマン、仕事に対する情熱の醸成を図る。

(2) 県立大学、山梨県(生涯学習推進センター)の教育事業「山梨学講座」への協力

① 活動内容説明

上記産学連携講座は、学生を対象とし、若い力の育成を主眼としていますが、一方で、学生に限らず、社会人、一般県民においても、山梨県の置かれた状況、課題、その背景となる世界や国内情勢の潮流変化等についての知識の共有化を図り、問題解決に向けた意識を深めていただくことも重要だという認識に立ち、県立大学、山梨県(生涯学習推進センター)が共同で実施している教育事業に協力いたしました。産学連携協定に基

づき、経済同友会としての視点で4名の会員の皆様に講師(連携協力者)をお願いいたしました。

この事業につきましても、初めての試みでしたので、効果を検証し、来年度以降の方向性について検討してまいります。

② 講座の方針・主旨……「山梨学の推進(オープン講座)」

- a. 世界規模で進む、政治・経済の潮流変化、社会構造や価値観の変化などマクロ情勢等について学ぶ場を提供することで、県民の幅広い視野・知識の形成に貢献する。
- b. 山梨県経済・産業、伝統・歴史・文化、自然環境・風土などをはじめとする地域・故郷の魅力を再認識・再発見し、地域への深い理解に基づく、誇り、自信を共有する。
- c. 山梨県が抱える重要な課題について、その処方箋を研究し、県民が協働して解決に取り組むための問題意識の共有を図る。

2. 授業内容報告

(1) 県立大学、同友会による産学連携講座(山梨創生学)

第一回 平成29年7月5日

入倉 要氏 「開講挨拶」

竹内 淳氏 「山梨を取り巻くマクロ環境・世界の今、日本の今、山梨の今」

第二回 平成29年7月12日

岡本新一氏 「山梨県経済の特性と課題・強み、弱み、魅力」

井上久仁氏 「先人に学ぶ山梨創生の精神」

第三回 平成29年7月26日

長沢重俊氏 「価値を創造する」

細谷憲二氏 「時代とともに観光の質は変わる～感動の追及」

第四回 平成29年10月11日

上原伊佐男氏

中丸真治 氏

第五回 平成29年10月18日

入倉 要 氏

各回講師 「学生と経営者のディスカッション」

(2) 県立大学、同友会、山梨県(生涯学習推進センター)との連携教育事業(山梨学講座)

第一回 平成29年10月12日

岡本新一氏 「そうだったのか!山梨～意外と知られていない山梨の魅力と可能性を探る」

第二回 平成29年10月13日

竹内 淳氏 「山梨県経済:現状、課題、可能性」

第三回 平成29年10月17日

長沢重俊氏 「山梨で企業を経営する」

第四回 平成29年10月19日

末澤豪謙氏 「金融マーケットの現状と展望～国際情勢の潮流変化を展望して」



(上(1)山梨県立大学連携講座:授業の様子(29.7.5~29.7.26)

山梨学講座
やまなしの創生を語るの

山梨県立大学・山梨県知事
山梨県立大学・山梨県知事

10月12日 (水)
18:00~20:30

①「そだったのか!山梨へ意外と知られていない山梨の魅力と可能性を探る～」
講師:岡本 新一氏 (山梨中継経営コンサルティング株式会社 経営調査部長)

②「山梨の大地形成から見られるユニークな自然観・価値観」
講師:興水 達司氏 (山梨県立大学 特任教授)

10月13日 (木)
18:00~20:30

①「やまなしの魅力発信とその後～移住相談の現場から～」
講師:倉田 貴敏氏 (やまなし暮らし支援センター 移住専門相談員)

②「山梨県経済:現状・課題・可能性」
講師:竹内 禎氏 (日本銀行 甲府支店長)

10月17日 (日)
18:00~20:30

①「山梨で企業を経営する」
講師:長瀬 重俊氏 (株式会社はくばく 代表取締役社長)

②「人口減少社会～地域活力の維持を目指して～」
講師:村田 俊也氏 (公益財団法人山梨総合研究所 専務理事)

10月19日 (火)
18:00~20:30

①「金融マーケットの現状と展望～国際情勢の潮流変化を展望して～」
講師:米澤 廣雄氏 (SMB C日興証券株式会社 金融財政アナリスト)

②「あなたは幸せですか?～幸福度から考えるやまなしの創生～」
講師:佐藤 文昭氏 (山梨県立大学 理事)

■時間:18:00~20:30 (①18:00~19:10 ②19:20~20:30)
■会場:山梨県生涯学習推進センター・交流室
■対象:一般県民・大学生 70名 受講無料 (要事前申込み)
■主催:山梨県立大学 山梨経済同友会 山梨県生涯学習推進センター

キャンパスネット
やまなし支援課

(左(2) 山梨県立大学、山梨県との連携教育授業(山梨学講座)のパンフレット (29.10.12~29.10.19)実施)

③ 山梨ネットワーク部会

部会長 齊藤基樹

当部会は、「インターネットを活用して山梨ブランドを発信することにより山梨創生を図る」べく、現在の同友会ホームページを有効活用していくにはどのような形や運用が良いのか、今年度よりこの命題に基づき、運用面の見直しを中心に活動を行ってきました。

現在の山梨経済同友会のホームページは、「どうする！山梨」特別委員会の「ネット推進部会」が平成24年(2012年)2月に全面リニューアルを行って来たもので、「情報発信や問題提起、情報収集」に簡潔で優れた良い点もありますが、限られた人数での運用となっています。部会内では、会員参加型のwebの必要性や、見やすく操作の手軽なもの、会員にとって身近なweb構築の必要性など、対応に不自由な点も感じてきました。

近年では、PCやスマホ、タブレットなどの画面閲覧時に自動的にサイズが切替わるものや、SNS活用のため画面に複数のデバイスとも連携できるものが主流になっています。そこで、これまでの状況や同友会の要望を踏まえた上で、当初より保守頂いている山梨ニューメディアセンター(YBSグループ)に協力いただき、web全体をリニューアル(案)することにいたしました。

◇改善点

①デザインリニューアル(これまでのホームページを基本)

「レスポンシブルwebデザイン」とする

②SEO対策

③コンテンツ見直し

④メンテナンス性向上

⑤セキュリティー強化

⑥会員参加できるコン

テンツの導入



(現在のHPトップのデザイン一部)

◇今後の活動方針

ホームページリニューアル(案)は、9月度の常任幹事会にて予算含めて承認をいただきました。本年20周年を迎えることから記念事業化も視野に入れたいと考えています。山梨創生委員会の部会としての活動が期待されております。今後、インターネットを使って山梨ブランドを発信したり、利用改善等が活動の一翼として見込まれますが、新しいメンバーの加入を期待しながら、来期に向けて、更に具体化・推進していく所存です。

1年間お世話になりました諸兄に心より感謝申し上げます。

以上